

23-1 エコマテリアル研究会

「機能性の更なる深化を目指したバイオベースポリマー研究最前線」

＜趣旨＞ バイオポリエチレンが使われたレジ袋など、生活の中でバイオベースポリマーを手にする機会が増えています。次のステップとして、高分子研究者には、より優れた機能や性能を有するバイオベースポリマーを安価に製造する技術の開発が強く求められています。また、プラスチック廃棄物による海洋汚染の対策として、分解のタイミングを制御可能なポリマー材料を待望する声も高まり続けています。今回のエコマテリアル研究会では、高分子合成、酵素化学、微生物学など様々な視点で、機能性を志向したエコマテリアル開発研究を進めておられる5名の講師をお迎えして研究最前線を紹介していただきます。バイオベース/生分解性ポリマーの研究開発に直接携わっておられる方はもとより、環境にやさしい材料にご関心をお持ちの方々のご参加をお待ちしております。特に、学生諸氏の参加を大いに歓迎いたします。

主 催 高分子学会 エコマテリアル研究会

協 賛 日本化学会、セルロース学会、日本生物工学会、繊維学会(予定)

日 時 2023年7月7日(金) 13:00～17:00

会 場 東京大学生産技術研究所 S棟プレゼンテーションルーム

交 通 京王井の頭線 駒場東大前駅 徒歩10分、小田急線・地下鉄千代田線 代々木上原駅 徒歩12分

プログラム

＜13:00～13:05＞ はじめに(運営委員長挨拶)

(東京大学) 吉江 尚子

＜13:05～14:05＞

1. リグニン系素材の機能性工業材料としてのポテンシャル

(森林総合研究所) 山田 竜彦

＜14:05～14:45＞

2. ブルーカーボンを原料とした微生物による生分解性プラスチックの生合成と微生物酵素による生分解性プラスチックの分解機構の解明

(岩手大学) 山田 美和

＜14:45～15:25＞

3. ジバニリン酸由来の高耐熱性および生分解性芳香族バイオマスプラスチック

(東京大学) 榎本 有希子

＜15:25～15:35＞ 休憩

＜15:35～16:15＞

4. 易分解性ポリエステル精密設計

(東京工業大学) 久保 智弘

＜16:15～16:55＞

5. 天然ゴムの生分解を担う環境微生物の機能解析

(長岡技術科学大学) 笠井 大輔

＜16:55～17:00＞ 閉会の挨拶

参加要領

1) 定員 80名

2) 参加費 ①企業 3,300円 ②大学・官公庁 2,200円 ③学生 1,100円

④名誉・終身・フェロー・ゴールド・シルバー会員 1,100円 ⑤エコマテリアル研究会メンバー無料

3) 申込方法 高分子学会ホームページ(<https://member.spsj.or.jp/event/>)からお申込みください。

請求書は受理通知のURLをクリックしてください。

受理通知メールを出力して当日受付でご提示ください。

4) 振込先 銀行振込＜三菱UFJ銀行銀座支店(普)1126232 公益社団法人高分子学会＞

郵便振替＜00110-6-111688 公益社団法人高分子学会＞

参加費は、7月末日までにお振込みをお願いいたします。

振込み手数料は振込人にてご負担くださいますようお願いいたします。

5) その他 演題・講演者は予告なく変更になる場合がございます。予めご了承下さい。

問 合 先 〒104-0042 東京都中央区入船3-10-9 新富町ビル

公益社団法人 高分子学会 23-1 エコマテリアル研究会係

TEL 03-5540-3770 FAX 03-5540-3737



行事参加申込 QR コード

<https://member.spsj.or.jp/event/>